



「夢を諦めずに再チャレンジ」「幼い頃から憧れていた舞台に」 『Siva Ola(シバオラ)』新メンバー2名が同時デビュー

しみず ようた
清水 湧太(福島県いわき市出身)

かわのべ らいじゅ
河野邊 来寿(栃木県宇都宮市出身)

◆日時：2023年3月21日(火・祝) 20:30～

常磐興産株式会社(本社：福島県いわき市、代表：西澤順一)が運営するスパリゾートハワイアンズのファイヤーナイフダンスチーム「Siva Ola(シバオラ)」の新メンバー、清水 湧太(福島県いわき市出身)と河野邊 来寿(栃木県宇都宮市出身)の2名が、2023年3月21日(火・祝)のシバオラ単独ショー『THE FIRE』で、同時デビューいたします。



【写真左から：清水、河野邊】

スパリゾートハワイアンズのファイヤーナイフダンスの歴史は1972年のショーの導入に始まり、2022年7月に50周年を迎えました。同年8月、新たな群舞や、技術と演技の幅を広げ、次の時代に向けて歴史の炎をつなぐべく新メンバーを募集。2名は書類審査と実技試験、面接の選考を経て、ファイヤーナイフダンサー、シバオラとして新規採用されました。2022年12月に清水、2023年1月に河野邊がそれぞれ入社し、ダンスの練習を重ねデビューを目指してきました。

このたび、2023年3月21日(火・祝)のシバオラ単独ショー『THE FIRE』での同時デビューが決定いたしました。

【本件に関するお問い合わせ先】常磐興産株式会社 スパリゾートハワイアンズ 広報担当
高橋、國井、根本 TEL：0246-38-6469 FAX：0246-38-5931
MAIL：press@hawaiians.co.jp



■夢を諦めずハワイアンズに再入社、5年越しの夢をつかんだ、いわき市出身ダンサー

清水 湧太(しみず ようた) / ステージネーム:ノア湧太

清水は福島県いわき市出身。小学生の頃から、地元のハワイアンズに遊びに来ていました。シバオラへの憧れは高校在学時からでしたが、当時はシバオラの採用枠がありませんでした。

そんな清水がハワイアンズに1度目の入社をしたのは高校卒業時の2017年。その後、一般職から人事異動でシバオラになったアフィ諒汰、エディ勇人と同期での一般職としての入社でした。

スパリゾートハワイアンズでは、一般職スタッフからのシバオラメンバーの募集もあり、人事異動でなれるチャンスもあります。清水が入社した時点で、人事異動でシバオラになったメンバーもすでに存在していました。入社後の清水は別部署で勤務をしながら、人事異動でシバオラを目指しているゴルフコース配属のアフィ諒汰と意気投合。チャンスが来た時のために、2人で退勤後のショー見学や、見よう見まねで作った練習用ナイフを回したりしていました。しかし、いつ募集があるか分からないシバオラを目指すことに不安を覚え、清水は2017年11月に志半ばでハワイアンズを退職しました。

ところが、清水の退社後に一般職スタッフからの募集があり、アフィ諒汰、エディ勇人がシバオラメンバーに。志を共にし、そして、共に練習していた同期入社2名のデビューを知った時は、喜びだけではなく悔しさもあり、退職したことも自己嫌悪になりました。その後はショーを見に行くことをやめ、ハワイアンズについてもネットなどで調べないようにしていた中、2022年8月にSNSで偶然シバオラ増員募集を知り応募。当時、応募年齢の上限の23歳で、退職後も練習用ナイフを捨てきれず、自主練習を続けていた清水は、最初で最後のチャンスと思い、応募に踏み切り、見事に合格。5年越しのファイヤーナイフダンサー、シバオラになる夢をつかみ、2022年12月にハワイアンズに2度目の入社をしました。

■幼い頃から憧れ続け、全くの初心者でチャレンジ、ハワイアンズ初の栃木県出身ダンサー

河野邊 来寿(かわのべ らいじゅ) / ステージネーム:来寿ガレイ

河野邊は栃木県宇都宮市出身。生まれてから19年間、毎年家族でハワイアンズに遊びに来ており、物心がついた時から、ショーで炎を自在に操るファイヤーナイフダンサーに憧れていました。その後も、毎年家族でハワイアンズに遊びに来てファイヤーナイフダンサーのショーを見るたび、憧れや感動の気持ちは、次第に自分もステージに立ちたい、やってみたいという気持ちになり、ファイヤーナイフダンサー、シバオラになることが夢になりました。

そんな河野邊ですが、2022年の高校卒業と同時に、シバオラメンバーとしてハワイアンズに入社したいと考えていましたが、当時は採用枠がなく、地元栃木県内の企業に就職しました。

その後、2022年8月に憧れ続けていたシバオラ増員募集を知り、家族の応援もあり応募し見事に合格。小学生の頃から続けている野球での運動経験はあるものの、ファイヤーナイフダンスを習う場所もなく、また、個人練習もできなかったため、全くの初心者でのファイヤーナイフダンサーへのチャレンジとなります。2023年1月、栃木県から単身でいわき市に移り住み、ハワイアンズに入社。いつもステージで見て憧れていたシバオラのメンバーたちから直接指導を受けながら練習を重ね、入社から約3カ月でデビューを迎えます。物心がついた時から、観客としてショーを見ていた河野邊が、夢であったファイヤーナイフダンサーとして、ハワイアンズのステージに立ちます。栃木県出身のダンサーはフラガールも含め河野邊が初めてとなります。

【本件に関するお問い合わせ先】常磐興産株式会社 スパリゾートハワイアンズ 広報担当

高橋、國井、根本

TEL : 0246-38-6469 FAX : 0246-38-5931

MAIL : press@hawaiians.co.jp



夢を諦めずハワイアンズに再入社した清水と、幼い頃から憧れ続けていた夢の舞台に立つ河野邊が新たに加わりました。また、2名がデビューする3月21日は、1990年に『常磐ハワイアンセンター』から『スパリゾートハワイアンズ』に名称を変更した日です。ハワイアンズが新たな歴史を刻み始めた日が、51年目となるファイヤーナイフダンスの歴史もさらに盛り上げていく節目の日になるような思いが込められています。

新人デビューは、ダンサーの家族、友人なども集まり、普段のショー以上に華やかなものとなります。

◆ファイヤーナイフダンスチーム『Siva Ola (シバオラ)』新人ダンサー同時デビュー

<日 時> 2023年3月21日(火・祝) 20:30～シバオラ単独ショー『THE FIRE』

※20:00～報道受け付け開始(場所:ウォーターパーク入場口)

※ショー終了後、囲み取材を実施します。

<場 所> ウォーターパーク・ビーチシアター

<プロフィール>

清水 湧太 (しみず ようた)	福島県 いわき市出身	・ダンサーとしてハワイアンズに再入社。 ・現メンバー、アフィ諒汰・エディ勇人と同期。
河野邊 来寿 (かわのべ らいじゅ)	栃木県 宇都宮市出身	・0歳から毎年ハワイアンズに遊びに来ていた。 ・ハワイアンズ初の栃木県出身ダンサー。

◆提供可能な動画

- ・清水、河野邊のシバオラ入社試験(実技試験、面接)の様子。
- ・入社後、メンバーとの顔合わせの様子、初回練習、初回火付け練習の様子。
- ・社内査定試験の様子。

◆【参考】ファイヤーナイフダンスチーム「シバオラ」

スパリゾートハワイアンズでは、1972年7月3日から、ファイヤーナイフダンスをポリネシアンショーに導入しました。当時は、ビデオもない時代。ファイヤーナイフダンスを教えてくれる人などはおらず、当時の男性ダンサーはバトントワラーの経験者にバトンの回し方を習い、資料などから自己流にトレーニングを重ねるなど、何もかもが手探りの状態からのスタートでした。

苦労を経て日本初のファイヤーナイフダンサーが誕生してから、その技と経験は後輩ダンサーに受け継がれ、フラガール57年の歴史には及ばないものの、今日までの50年間、日本で唯一のパフォーマンスを継続し、現在では熱心なファンが付くほどの人気を得ています。

2016年に日本で唯一のプロのファイヤーナイフダンスチーム「シバオラ」を結成。これはサモア語で“強い踊り”を意味します。従来の公演ではソロが主体だったものをグループでの演舞へ切り替え、さらにパワーアップしたパフォーマンスを披露しています。

【本件に関するお問い合わせ先】常磐興産株式会社 スパリゾートハワイアンズ 広報担当

高橋、國井、根本

TEL: 0246-38-6469 FAX: 0246-38-5931

MAIL: press@hawaiiains.co.jp

